

「検診」と「診療」の違い

自覚症状がない人

検診

- 病気の自覚症状がない健康な人が対象
- 病気を持っている割合が低い

自覚症状がある人

- **胃がん** 胃の痛み、不快感、食欲不振、食事がつかえるなど
- **大腸がん** 血便、腹痛、便の性状や回数の変化など
- **乳がん** しこり、乳頭から血性の液が出る、乳房のひきつれ、乳頭の湿疹やただれなど
- **子宮頸がん** 月経(生理)以外に出血がある、閉経したのに出血がある、月経が不規則など
- **肺がん** 血痰、長引く咳、胸痛、声のかれ、息切れなど

診療

- 自覚症状がある人が対象
- 病気を持っている割合が高い
- 緊急性が高い



Point

がん検診は、自覚症状のない人が対象です。
 症状のある場合は、検診ではなく、必ず医療機関を受診してください。
 検診まで待つ必要はありません。すぐに医療機関を受診しましょう。

あら、お得!
 受けない手はない!



封筒open

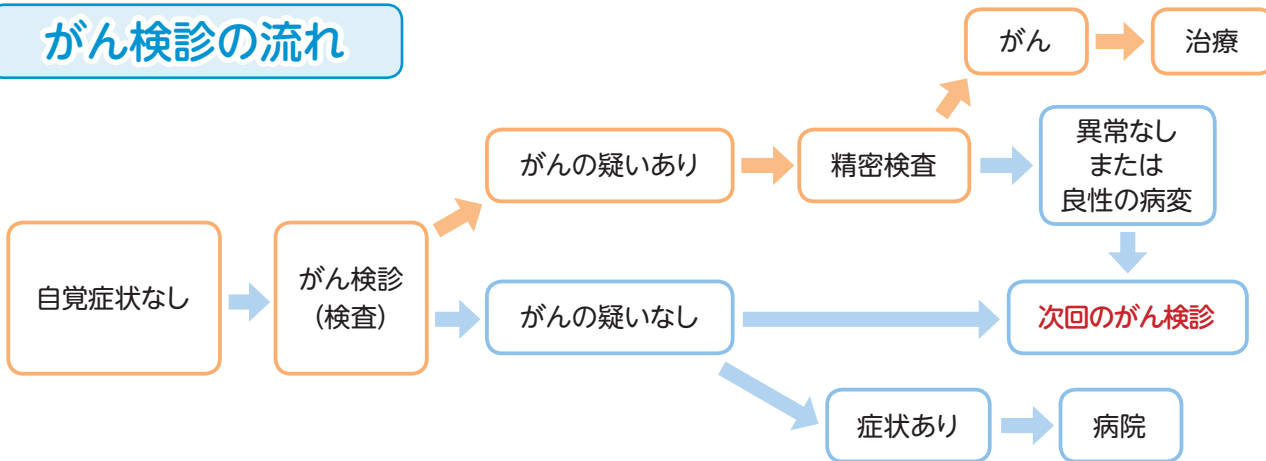
市の補助で最大9割引
 胃がん検診の場合
 受診券使用で500円

検診を自費で受けると
 約1万6000円

500



がん検診の流れ



検診は今の状態を判断するものです。継続して受診することが大切です!

がん検診Q&A

Q1 検診って待ち時間が長いんですよね? すいている時期はありますか。

A1 今年から集団検診は予約制を導入したので、例年より待ち時間が短くなる予想です。夏場に受診者数が減る傾向がありますので、ぜひ夏場の受診も検討してみてください。

Q2 子どもを連れて検診に行ってもいいですか。

A2 子宮頸がん検診(集団検診)は全日程で診察時、お子さまをお預かりします。ぜひご予約ください。

Q3 がん検診を受ければ、必ずがんが見つかりますか。

A3 健康な人を対象とした場合、小さながんは検査で発見することができない場合があります。定期的に検診を受ければ経過を見ることができ、がんが見つかる可能性が高くなります。

Q4 なぜがん検診を受ける年齢が決まっているのですか。

A4 がんは年齢や性別で罹患率(病気のかかりやすさ)が異なります。がん検診の目的は、がんを早期に見つけて治療することです。がんの可能性が低い年齢で検診を行うのではなく、罹患率が高くなる年齢から検診を行っています。

Q5 がん検診の受診準備としては、どのようなことが必要ですか。

- A5** 検査によっては準備が必要な場合があります。
- 胃がん検診の胃部X線検査および胃内視鏡検査は、検査前日の夕食の時間や当日の検査が終了するまでの飲食に制限があります。
 - 子宮頸がん検診は生理日以外での受診をおすすめします。